

診療科紹介(内科)

呼吸器内科

担当医師 小澤 克良(院長)、西川 圭一、大木 善之助
佐藤 亮太

肺炎、喘息、慢性閉塞性肺疾患、肺がん、睡眠時無呼吸症候群をはじめとする呼吸器疾患全般の治療を行っています。地域の先生方にご協力いただき、いずれの疾患においても患者数は山梨県内最大規模となっておりますが、患者数のみならず診療のレベルも常に最も高いものであるように日頃から心がけて、各疾患における最新のガイドラインに沿った診療を実践しております。

また、肺がんに関しては外科、放射線科、病理科の各医師と協力して集学的医療を提供しております。なお、平日診療時間内の救急患者様の対応に関しましては当番制を取っておりますので、直接「呼吸器当番へ」とご指定いただければ極力短時間で対応させていただきます。今後ともよろしく申し上げます。



部長 西川圭一

循環器内科

担当医師 沢登 貴雄、植松 学、鈴木 浩二

循環器内科では病歴聴取と診察を重視した、検査に偏らない医療を目指しています。循環器診療の進歩に遅れないように、新しい検査法や治療の取り入れも積極的に行っています。狭心症、急性心筋梗塞、不整脈など緊急性の高い疾患の受け入れに力を入れており、胸痛、動悸、呼吸困難などを訴える患者様の緊急対応をできる限り行っています。冠動脈造影検査、経皮的冠動脈形成術、ペースメーカー植込術を行っています。外科処置が必要な場合には山梨大学病院、山梨県立中央病院とのスムーズな連携をとっています。チーム医療の実践を心がけ、医師の間でのカンファレンス、他職種との連携を密に図り、治療効果の改善を目指しています。



部長 沢登貴雄

糖尿病・内分泌内科

担当医師 新藤 英夫、緒方 亮二

糖尿病患者さんを中心に、甲状腺、副腎、下垂体などの内分泌疾患の患者さんの診療も行っています。一部緒方医師の助けを借りて、新藤一人で行っています。そのためマンパワーの不足より、全ての患者さんを継続的に診療するのは難しいので、糖尿病の患者さんについては病診連携のなかで、1) 疾患診断時の初期指導 2) 血糖コントロール不良時の再指導と薬剤調整 3) インスリン注導入 4) 合併症の治療とそのための指導 などに焦点を絞って当院にて診療し、普段落ち着いている間は診療所の先生方に治療をお願いする方式をとっています。詳細は当院ホームページなど参照されて随時ご連絡下さい。



部長 新藤英夫

腎臓内科

担当医師 緒方 亮二

血尿・蛋白尿などを指摘された患者さんに対して確定診断を行うため腎生検を3泊4日の入院で行っております。診断によって慢性腎不全への進行を防ぐためにステロイド・免疫抑制剤を用いた積極的な治療を行います。慢性腎不全の患者さまに対しては、貧血治療や血圧コントロールといった全身的な管理を行い、内シャント造設を2泊3日で行っております。血圧透析を導入する際は2週間程度の入院で行います。



医長 緒方亮二

一般内科

担当医師 河埜 功

上記各診療科に分けられない内科疾患及びまだ診断のついていない内科疾患の患者さんや複数の疾患を合併している患者さんの診察を行います。



科長 河埜 功

<当院の外来受診について>

診療受付時間	午前8時30分から午前11時まで
診療時間	午前8時30分から午後5時30分まで
休診日	土曜、日曜、祝日

(診療科、医師等は裏面の「各科外来曜日別担当医表」を参照して下さい。)

各セクション紹介(放射線科)

放射線診断科

担当医師 野方 容子、冨永 理人

放射線診断科では、院内で撮影されたすべてのCT, MRI, 核医学検査・乳房撮影の画像診断(読影)を行っています。腹部を主体とした血管造影検査及び血管を介した病気の治療(IVR)も山梨大学放射線医学教室の協力を得て行っています。これらの検査が適切に、かつ最小限の被爆で行なわれるよう、診療放射線技師と協力して撮像条件を決定しています。また、患者さまには不安なく検査を受けていただくことができるよう、看護師を含めたチーム医療を実践しています。造影剤を使用する場合には、安全に検査を受けていただくために、問診の上検査同意書をいただいております。

開業の先生方にも手軽に検査を利用いただける体制をとっており(※)できるだけご希望の日時に検査を施行し、報告書とともに画像結果をお持ち帰りいただいております。(原則的にはビューワー機能付きのCD-Rでの画像添付となりますが、希望があればフィルムにすることも可能です。また、核医学検査の結果は郵送となります。)

※開業の先生方で当院のCT, MR, 核医学検査をご利用を希望される場合には、当院地域医療連携室(内線2211)までご連絡下さい。



部長 野方容子

放射線治療科

担当医師 小宮山 貴史

放射線治療科ではリニアックによる体外照射(身体の外側から放射線を当てる治療)を行っています。常勤の放射線治療専門医、放射線治療専門放射線技師、専属の看護婦、医療事務スタッフで診療にあたり、治療期間中の毎日の診療、看護師による個別オリエンテーション、治療後の継続フォローなど安心して治療を受けていただける体制をとっています。当院の機械はCTとリニアックが同じ部屋にあるシステムであるため、早期肺癌に対する定位照射(ピンポイント照射)、前立腺癌に対する画像誘導放射線治療(IGRT)などの高精度照射も行っています。

診療時間は8:30~17:30です。診察、治療ともに午前、午後ともに大丈夫です。新患は毎日受け付けています。診療開始までの待機期間はほとんどありません。リニアック以外の放射線治療の適応の相談や、他施設への紹介も行っています。



医長 小宮山貴史



リニアック

||||||||||||||||||||||| **がん診療に対するご相談(がん相談支援センター)** |||

患者さん、家族はがんのために様々な悩み、不安を抱えることがあると思います。

「地域がん診療連携拠点病院」では、がん対策情報センターの研修を修了した相談支援に携わる専門の相談員が、相談や情報の提供を行うこととなっています。当院においてはがん相談支援センター(総合相談室内)が、がんに関する相談窓口を担当しています。

どんなことでも構いません。がん相談支援センターをご利用下さい。

たとえば

- がん診療に関する一般的な医療の情報の提供
- セカンドオピニオンに関する情報の提供
- 療養生活上の不安に関する相談
- 医療費に関する相談
- アスベストによる肺がん及び中皮種に関する相談
- その他相談支援に関すること…など

問合せ先
がん相談支援センター
(総合相談室 医療福祉係)
TEL 055-244-1111
Fax 055-220-2654
Mail byokaniya@city.kofu.lg.jp